

No. 09 2026年1月25日									
公現後第三主日礼拝									
説教『ただお言葉をください』									
吉丸初美師									
司会		吉丸初美さん							
奏楽		自動演奏機							
招詞		ローマ人への手紙 1章16～17節							
主の祈		( 5 6 4 )							
讃詠		5		4		6			
交読詩編		詩		4		1		編	
祈禱									
讃美歌		2 1		-		1		5 1	
使徒信條		( 5 6 6 )							
聖書		マタイ福音書 8章5～13節							
説教		( 口語訳11 頁、共同訳13頁 )							
『ただお言葉をください』									
祈禱		禱							
讃美歌		2 1		-		5		6 0	
献金									
感謝									
報告									
頌栄		5		4		4			
祝後		禱奏							
次週礼拝 ( 公現後第四主日礼拝 )									
説教『山上の光』									
マタイ福音書 17章 1～9節									
招詞 IIコリントへの手紙 4章6、交読詩篇97編									
讃美歌546、21-285、21-579、539									
礼拝当番									
今週 25日		司会		吉丸初美		さん			
次週 1日		司会		山根真三		さん			
会堂清掃奉仕 2月1日(日)									
コーヒータム後に行います。									

本日の集会				
★教会学校 午前9時45分				
★コーヒータム 礼拝後～				
様々な思いを共有し、話し合いの時を持ちましょう。				
S 広島キリスト教一致祈禱会 14時30分～				
講師:堤 健生 牧師 (広島南部教会)				
場所:三篠カトリック教会				
今週の集会/スケジュール				
めぐみ幼稚園礼拝 1月30日(金)10時30分～				
次週以降のスケジュール等				
★2月定例教会役員会 2月1日(日)コーヒータム後				
教務・教勢報告、会計報告、教会総会について。				
教会役員の働きと健康をお祈りください。				
S 庄原保護司会講演会 2月2日(月)10時～12時				
会場:庄原市ふれあいセンター				
講師:山根真三師 覚えてお祈りください。				
S 広島YWCA第二回聖書講座 2月3日(火)10時30分				
「聖書から天皇制とジェンダーを考えてみよう」				
場所:広島YWCA(広島バプテスト教会教育館3階)				
講師:大月 純子さん(広島府中教会牧師)				
参加費:700円(資料代含む)				
めぐみ幼稚園礼拝 2月6日(金)10時30分～				
S 2026年2.11「建国記念の日」を問う広島集会				
日時:2月11日(水) 14時～16時				
場所:広島カトリック会館 多目的ホール				
講演「信教の自由を生きる～戦争準備に抗して」				
講師:小河 義伸さん				
★西分區牧師会 2月17日(火)場所:広島南部教会				
★今年の灰の水曜日は2月18日(水)受難節(レント)は				
2月18日～4月4日(土)。イースターは4月5日(日)				
★2026年度教会総会は4月19日(日)の予定。				
先週の集会	男	女	計	
教会学校	0	0	0	
主日礼拝	3	6	9	
聖書を読む会	1	2	3	

◇今週の説教要旨(公現後第三主日礼拝)

説教『ただお言葉をください』 マタイ福音書 8章5～13節

私たちは日常の中で自分の気持ちや要求を伝える時言葉を使います。言葉は人間にとって非常に重要であり私たちの思考や感情に大きな影響を与えます。暖かな気持ちになる言葉、支える言葉、強い言葉、また苦しめる言葉もあります。あるお医者さんが「病は言葉からだった。知らず知らず身体も心も蝕む言葉の毒」、と著書に書かれていました。毒になる言葉もあれば、薬になる言葉もあるということです。マタイ福音書5章～7章までは「山上の垂訓」と呼ばれ、イエス様が「権威」ある言葉によって語られた場面でした。そして8章はその「権威」ある言葉が行為によって示されます。最初にイスラエルの外側にいる律法的に排除された「重い皮膚病」の癒し物語があり、次に異邦人への癒しが記されています。彼らは救われる価値がないと見なされていましたが、ここでマタイは救済の広がりを段階的に示しています。百人隊長は最初にイエス様に声を掛けた時と、二度目は明らかに距離が違ってきます。その理由はイエス様の返答の言葉でした。彼はその言葉を聞き驚きます。そこで彼は「ただひと言おっしゃってください」と願いました。それは自分が権威の中に生きる者としての経験を、そのままイエス様に重ね合わせたからです。彼は、癒しは儀式や方法ではなく正当な権威から出る言葉の結果であると見抜きました。それは声を持たない僕の苦しみを受容し、僕への愛によってでした。その信仰をイエス様は「イスラエルの中でさえ、これほどの信仰を見たことがない」と言及します。彼は異邦人であってもイエス様の本質を正確に理解しました。百人隊長の僕への愛が信仰を生み、その信仰に対してイエス様が父の権威を持って答えられたのです。「あなたが信じたとおりになるように」癒されるようにではなく「信じたように」。癒しの言葉は癒される僕ではなく懇願した彼に与えられました。この言葉はイエス様の祈りのようです。人は拒んでも神は拒まれません。人は境界を作りますが、イエス様はそれを越えられたのです。